

せとうちエリア周遊の“新”拠点へ。尾道駅が生まれ変わります！

平成 28 年 7 月 20 日  
西日本旅客鉄道株式会社

穏やかな海と暖かな気候に生まれ、様々な素材に恵まれたせとうちエリアでは、「クルーズ」「宿」「サイクリング」「アート」「食」といったテーマを中心に、様々な取組みが進められています。

JR西日本では、このせとうちエリアを「地域の皆さまと連携し、地域の魅力向上・活性化に取り組みたいエリア」と位置付け、岡山・尾道・広島を核とした「広域周遊ルート」の創出を進めているところです。

本州・四国を結ぶ「せとうちの十字路」に位置する尾道は、日本遺産にも認定された古くからの観光名所のひとつであるとともに、近年では「サイクリストの聖地」とも称される「世界有数のサイクリングコース：しまなみ海道」の本州側の出発地として、新しいまちづくりが進んでいます。

そこで、せとうちエリアを周遊されるお客様の“新”拠点として、また地域の魅力発信の場、地域の皆さまの交流・賑わいの場としてご利用いただけるよう、初代尾道駅舎（明治24年当時）の“おもむき”や“まちの風情”を取り入れながら、“尾道のまち”とともに成長していける新しい駅を目指し、尾道駅を建て替えることにしましたので、お知らせいたします。

## 1. デザインのコンセプト

国内外からせとうちエリアを周遊に訪れるお客様には“旅情”を、地域の皆さまには“尾道らしさ”を感じていただけるよう、“尾道のまちへの玄関口”“せとうちエリアへの玄関口”にふさわしい駅空間とします。

### (1) 尾道のまちなみに溶け込む外観

- ・ 歴史ある駅として、初代尾道駅舎の“瓦屋根”や“深い軒”といった“おもむき”を踏襲します。
- ・ 尾道水道が紡いだ中世からの箱庭都市に即した建物形状により、“まちなみ”と融和します。

### (2) 尾道の風土を活かした空間づくり

- ・ 1階コンコースでは、吹抜けを介して自然光を導入し、海から山へ抜ける開放的な空間にします。
- ・ 2階眺望デッキでは、屋根を一部くり抜くように外部に開放し、尾道水道を楽しめる空間にします。

### (3) 多様な人々が集うコミュニティの場の創出

- ・ 待合を1階改札横に、眺望デッキを2階南側に配置するなど、充実した憩いの場を生み出します。
- ・ 駅舎内の様々な施設を、渡り廊下・階段・エレベーターでつなぎ、多様な楽しみ方ができる空間にします。

■ [参考資料「デザインのコンセプト（詳細）」](#)

《新築駅舎：完成イメージ（外観）》



《新築駅舎：完成イメージ（内観）》



2. 新築駅舎の概要

所在地	広島県尾道市東御所町 1-1
構造	鉄骨造・地上2階建
建築面積	約 1,100 m <sup>2</sup>
延床面積	約 2,150 m <sup>2</sup> (駅施設) 約 950 m <sup>2</sup> (商業施設) 約 1,200 m <sup>2</sup>
デザイン監修	有限会社 アトリエ・ワン 一級建築士事務所
設計	西日本旅客鉄道株式会社 岡山支社 一級建築士事務所 ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社 一級建築士事務所
施工	広成建設株式会社 他
総工事費	約 17 億円
開業時期	平成 30 年夏頃 (予定)

※ 新築駅舎のレイアウトや概要は、平成 28 年 7 月 20 日時点の計画です。

3. 駅施設リニューアルの概要

尾道水道や駅前広場に面している現行の南口駅舎を、吹き抜け空間を活用した開放的な駅舎に建て替えます。国内外からせとうちエリアを周遊に訪れるお客様や日々ご利用のお客様にもご利用いただきやすいよう、お手洗やコンコースを広くゆとりのあるスペースにするとともに、改札内地下通路もリニューアルし、より快適で綺麗な駅空間を実現します。

また、改札口付近には「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」のお客様にご利用いただく専用出入口を設置します。

- (1) 安全・安心 … 駅舎建て替えによる耐震性能の向上で、より安全・安心な駅に。
- (2) 心地よさ … お手洗や待合スペースのリニューアルで、広くゆとりのある、より快適な駅に。
- (3) より嬉しい … 吹き抜けとガラス屋根のコンコース、地下通路リニューアルで、明るく綺麗な駅に。
- (4) 驚き・感動 … 「海・空・風」を感じることができる2階の眺望デッキで、旅の思い出に残る駅に。

#### 4. 商業施設の概要

(1) せとうちエリアを周遊に訪れるお客様に

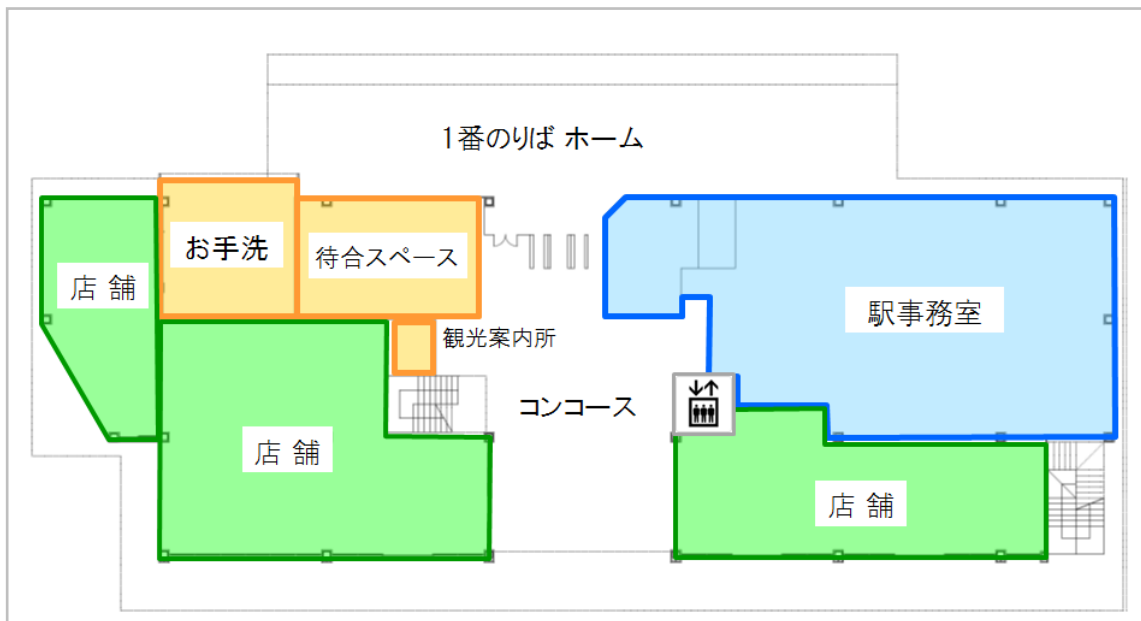
本州・四国を結ぶ「せとうちの十字路」であるとともに「世界有数のサイクリングコース：しまなみ海道」の本州側の出発地でもある“尾道”に訪れるお客様がその魅力を体感できるよう、駅直結の宿泊施設やサイクリスト向け店舗などを配置します。

(2) 地域の皆さまに

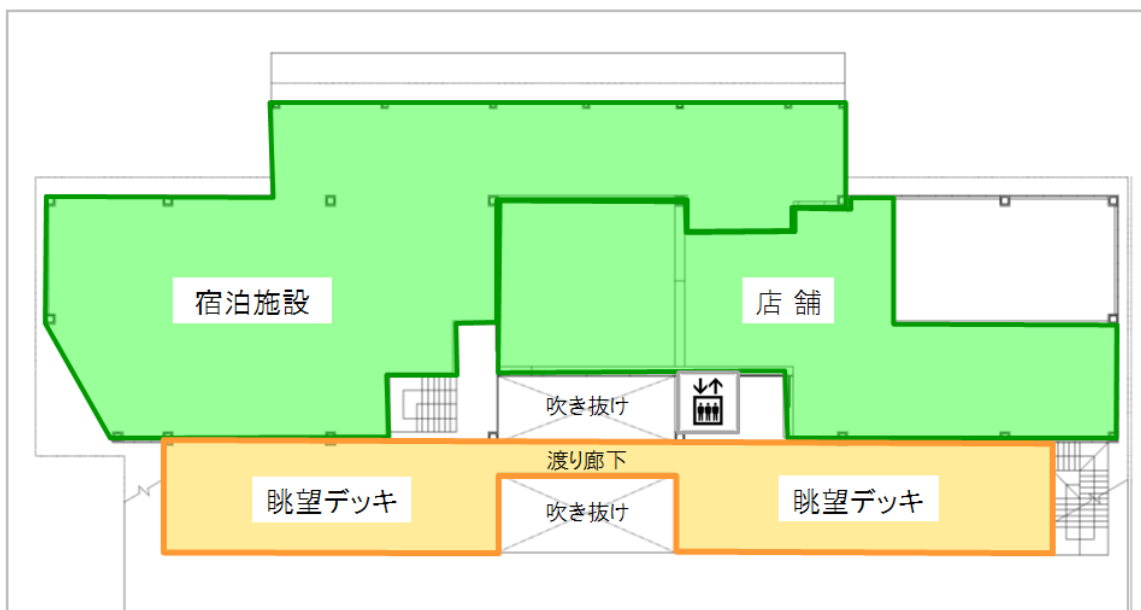
地域の皆さまの日々の暮らしをより便利にする店舗、そして日々の交流・賑わいの場としてご利用いただける店舗などを配置します。

※ 具体的な店舗内容や配置につきましては、詳細決定後、あらためてお知らせする予定です。

#### 《新築駅舎：レイアウトイメージ (1階)》



#### 《新築駅舎：レイアウトイメージ (2階)》



## 参考資料：デザインのコンセプト（詳細）

### ■ 尾道のまちなみに溶け込む空間づくり

- ≫ 日本の鉄道の黎明期から愛され続けてきた歴史ある尾道駅として、初代尾道駅舎（明治24年当時）の“瓦屋根”や“深い軒”といった特徴的な形態や色彩を踏襲した外観とします。
- ≫ プラットホーム上部に張り出し、屋根勾配を工夫することで、尾道水道が紡いだ中世からの箱庭都市に即した建物形状とし、尾道のまちなみと融和したデザインとします。

### ■ 尾道の風土を活かした空間づくり

- ≫ 1階のコンコース空間は、山と海の空気を感ずることができるよう、駅舎中央部分に設け、南北に抜ける開放的な空間とします。  
また、せとうち地域の晴天が多い気候を活かし、コンコースに大きな吹抜け空間とトップライトを設け、自然光を駅舎内に導入します。
- ≫ 2階の眺望デッキは、その上部にあたる駅舎南側の屋根を大きくくり抜いたようなデザインとすることで、尾道水道の景色を“借景”として楽しむことができる眺望空間とします。  
また、海・空・風を直接肌で感じていただくことができます。

### ■ 多様な人々が集うコミュニティの場の創出

- ≫ 駅・宿泊施設・諸店舗などを利便性に配慮した施設配置とすることに加え、待合スペースや眺望デッキなどの“憩いの空間”を充実させることで、ご利用いただくお客様や地域の皆様などに駅舎内でゆっくりお過ごしいただける心地よい空間を生み出します。
- ≫ 駅舎内の様々な施設を、“吹抜け内の渡り廊下”、“コンコース内の階段やエレベーター”、“東側の階段”でつなぎ、多様な楽しみ方ができる空間にします。